

令和2年第4回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日 時	令和2年8月20日（木） 10時00分～11時20分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、石井委員、大須賀委員、大平委員 小野委員、後藤委員、中村委員
欠席委員	佐野委員
事務局	國枝教育長、成田教育部長、西館教育次長、佐々木主幹、大澤主幹、木村主幹、 伏見館長、谷中主査

<議事報告>

【日程1】室蘭市社会教育委員の会 委員長の選挙

【日程2】報告第1号 令和2年第2回室蘭市議会定例会について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 市議会で図書館の専門職が社会教育委員になっているのかとの質問があったが、社会教育委員は専門分野に明るくなければならないということより、市民感覚が大切だと思うので、現状で妥当だと思う。また、図書館に関する事柄は、図書館長から説明を受けることができるので、適切である。しかし、図書館や職員の充実を考えるうえで議会に取り上げられることは大事だと感じた。また、図書館資料としての地元紙の電子化は新聞社が行っているのか、それとも市が行っているのか。

（事務局） 図書館が行っており、電子化された新聞資料は図書館内で申請を受けてから閲覧いただいている。

（A委員） 南部陣屋史跡の復元などについては、近隣の陣屋史跡をもつ市町村や東北地方の陣屋関連資料についても十分調査の上行っていただきたい。また、私的な見解を挟まず慎重に行ってはどうか。

（B委員） 図書館については専門的知見と一般市民の意見の違いがあるだろうが、住民や利用者の感覚で生活に根ざした意見が大切と考える。

（A委員） 室蘭は市立図書館のほかに室蘭工業大学の図書館も市民に開放されており、恵まれた環境だと感じる。また学校図書館を充実させるには、市立図書館との連携が今後の課題と思う。

（C委員） 自分は図書館を利用する習慣がなく、仕事に使う書籍などは自分で購入している。図書館利用者の年代はどのようになっているのか。また、新刊選書などはどのようにしているのか。

（事務局） 本館は一般書や郷土資料、きらんは児童書が多く、きらんは子連れの方や小中学生の利用が多い。近隣自治体とネットワークでつながっており、希望の図書館を他市から取り寄せたりなど、随時リクエストや予約が出来る。

（A委員） 自分が本を選ぶときは新聞の書評や広告を参考にするが、図書館の新刊紹介については図書名だけでなく、勧める点も掲載するなど、市民に分かる工夫が必要と感じる。

(B委員) 新館建設に伴い、図書の移動等で図書館利用に制限があれば、あらかじめ市民に周知願いたい。

【日程3】

報告第2号 室蘭市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 市の審議会はいくつもあると思うが、スポーツ推進審議会は社会教育委員の会と同じように定期的に行っているのか。

(事務局) スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問機関として計画策定期間など、その都度開催している。

【日程4】

報告第3号 9月・10月の行事予定について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(B委員) 新型コロナウイルスの影響で行事関係が縮小されているが、少しずつ行事活動が進んでいる感じが伺える。

【日程5】

研究協議 室蘭市社会教育前期推進計画評価(案)について

(事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答)

(A委員) 前期計画では、図書館関係の事業はもちろん、これだけ多くの事業を行っており、多くの人に知って頂きたい。

また、評価のあり方では、いくつかの事業評価の中に「資質を高めることができた」との表現があるが、アンケートや参加者の反応など、資質が高まったと評価する根拠を示すべきと思う。「効果的な街頭補導」とはどのような補導なのか。「効果を上げた」についても具体的な効果の表現を願いたい。特に良い評価とした事業成果は、文言によっては根拠を示す必要があると考える。

コミュニティ・スクールに関しては、これまでの学校の仕組みとの違いを教員や父母がどこまで捉えているのか把握した上でなければ議論のしようがない。地方の学校は以前から地域の方々の協力無しでは運営が成り立たない現状があるので、そのような地域と交流することで理解が深まるという感想を持った。

(事務局) 根拠を持った評価は重要である。また、コミュニティ・スクールなどカタカナ言葉が多いと感じるが、地域連携の概念は今も昔も同じである。事業成果の表現等見直したい。なお、前期評価に新型コロナウイルスの影響を受けた今年度の評価は反映されないことから、前期計画期間の延長など柔軟な対応を検討したいと考えており、委員皆様のご意見も参考に進めたい。

(B委員) 事業に関する新型コロナウイルス対策と計画の推進を一緒に検討するのか。

(A委員) 事業の目標は変わらないのだから、新型コロナウイルスの影響があれば評価の時に加え、中期の計画に新型コロナウイルスの影響を盛り込まなくても良いと思う。

- (C委員) 成人式などは影響が大きいと思うが、そのほかは手法の問題なので、計画推進はそのままで良いと感じる。
- (A委員) 成人祭の報告は一度受けたが、提案などはこれからか。
- (事務局) 各方面に聞き取りや意見を伺っているところで、今後、皆様に提示していきたい。
- (B委員) 成人祭については、また別の機会で報告願いたい。
- (B委員) 中期計画の策定に関しては新型コロナウイルス対応はその先の手法になると思うので、前期評価及び中期計画策定はこのまま進めるが、各委員よろしいか。
- (委員一同) 異議無し。

次回開催日 10月15日(木)